

イスターカーテン

ミュート 下戸車タイプ 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
 商品の取り付けは、この説明書を必ず読み、安全に正しくおこなうようお願いいたします。
 ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
 施工にあたって必ず守るようお願いいたします。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

———目次———

□施工上の注意事項	P 2
□必要工具類の確認	P 2
□基本納まり(片引き・引分け)	P 3
□梱包内容	P 4
□取り付け手順	P 4
1 障子の吊込み	P 5 ~ 10
■ 扉の構成	P 5
■ 障子の構成	P 5
■ 「取り外しレール」の取り外し	P 6 ~ 7
■ 障子の吊込み	P 8
■ 「取り外しレール」の取り付け	P 9
■ 障子の連結	P 9 ~ 10
■ ローラーカバーの取り付け(引手框及び連結ヒンジ框)	P 10
2 吊元ストッパーの調整、ローラーカバーの取り付け(吊元枠)	P 11
3 上枠固定金具位置の調整	P 12
□施工後の点検	P 12

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 扉本体は重いので、二人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

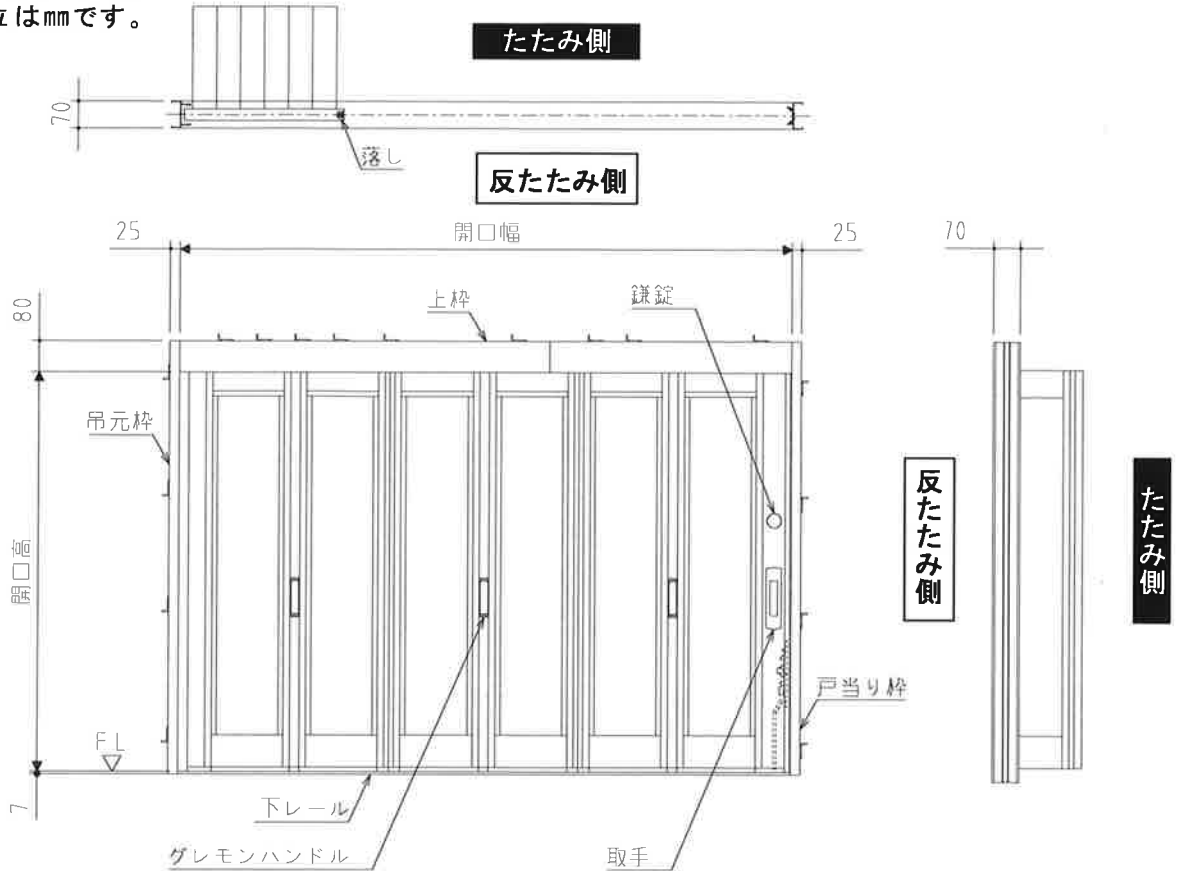
□必要工具類の確認

(+)手動ドライバー	スケール
カッター	水平器
電動インパクト	
ニッパー	
ひも	

□基本納まり

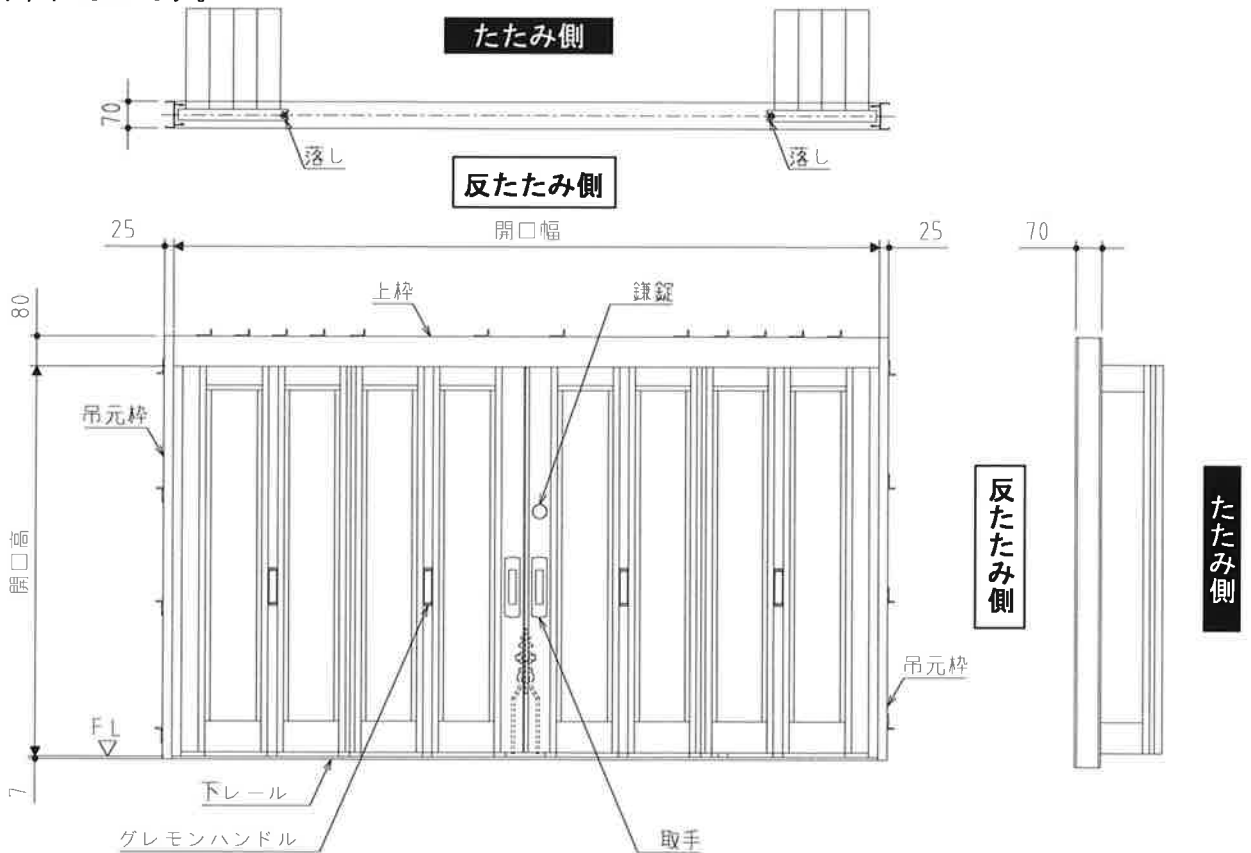
[片引き]

本図は、片引き:右勝手を示す。
※寸法単位はmmです。




[引分け]

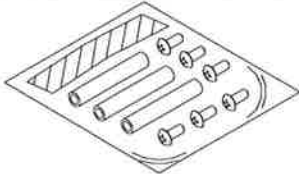
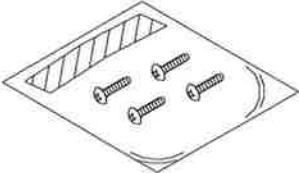
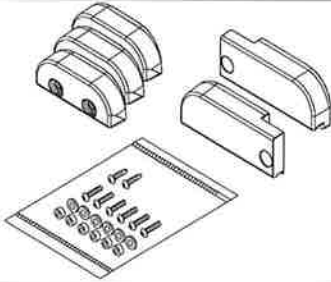
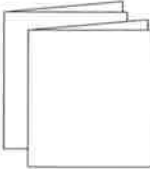

本図は、引分けの場合を示す。
※寸法単位はmmです。



□ 梱包内容

品名	形状	個数	備考
障子		必要数	パネル 2 枚 1 梱包

■ 同梱部品

連結金具セット		必要数	ヒンジ框に貼付
吊元固定ねじセット		必要数	吊元になる障子の 吊元框に貼付 片引き: 4 本 引分け: 4 本 × 2
ローラーカバーセット		必要数	吊元になる障子に同梱
取付説明書(扉) 取扱説明書		1セット	吊元になる障子に同梱
ガラス施工説明書 ※ガラスタイプのみ		1	吊元になる障子下框に貼付 ※ガラス施工まで取り外さない てください。

□ 取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。

1 扉の吊込み

- 扉の構成
- 「取り外しレール」の取り外し
- 障子の吊込み
- 「取り外しレール」の取り付け
- 障子の連結
- ローラーカバーの取り付け(引手框及び連結ヒンジ框)

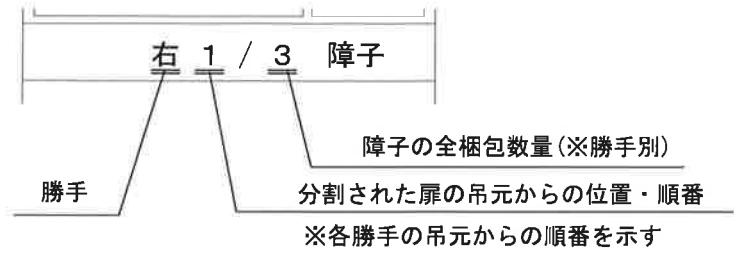
2 吊元ストッパーの調整、ローラーカバーの取り付け(吊元枠)

3 上枠固定金具位置の調整

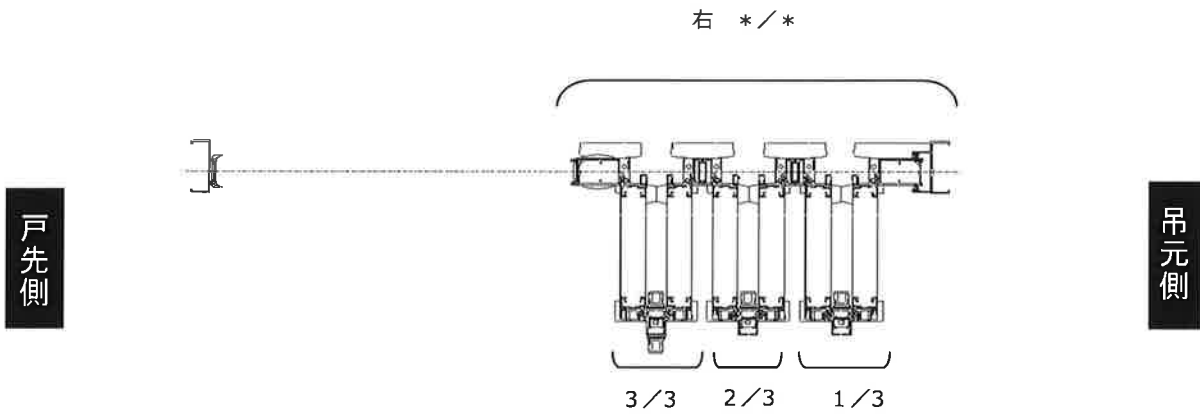
1 扉の吊込み

■扉の構成

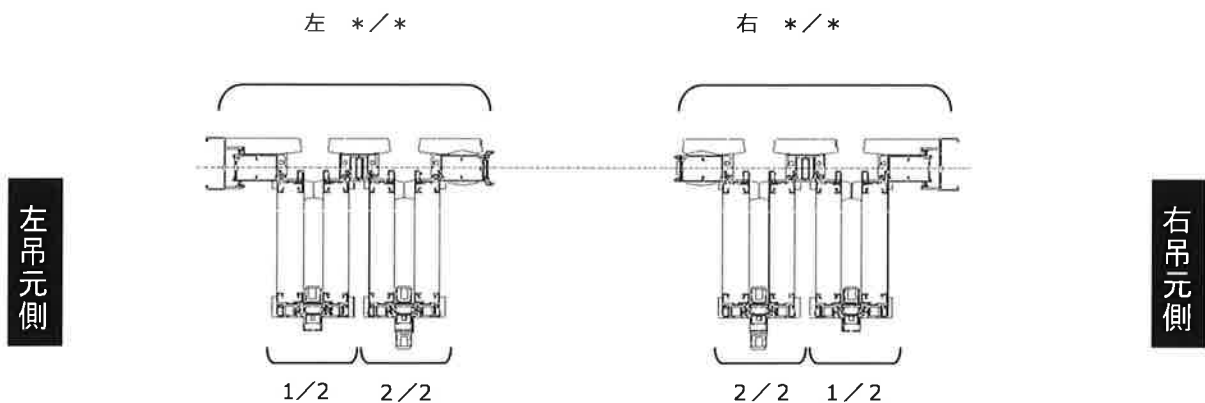
扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。
吊元枠に近い扉から吊込む仕様になっています。



【片引き右勝手1連の場合の表記例】



【引分け2連(1+1連)の場合の表記例】

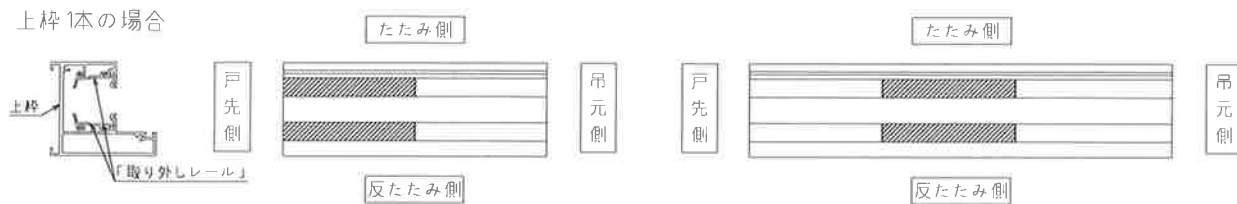


■ 「取り外しレール」の取り外し

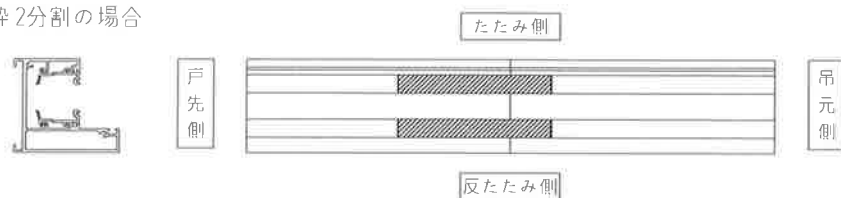
下図に示す、ハッチング部箇所の「取り外しレール」を取り外してください。

[片引きの場合] 本図は、片引き:右勝手の場合を示す。

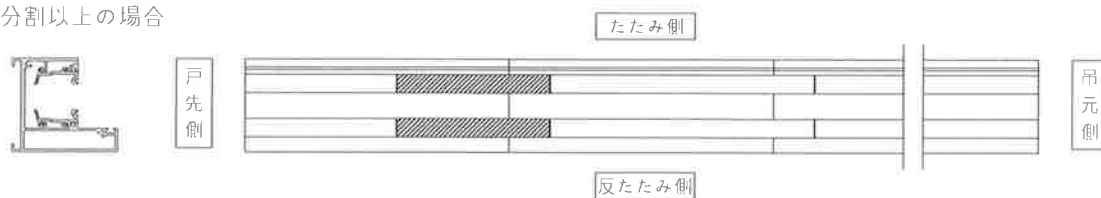
上枠1本の場合



上枠2分割の場合

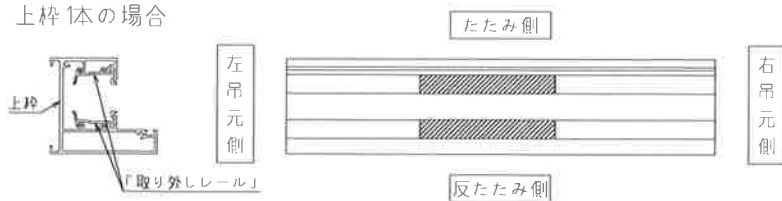


上枠3分割以上の場合

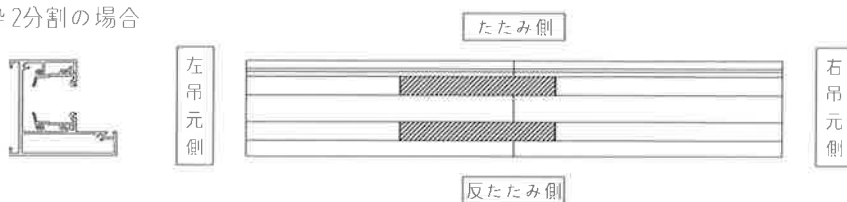


[引分けの場合] 本図は、引分けの場合を示す。

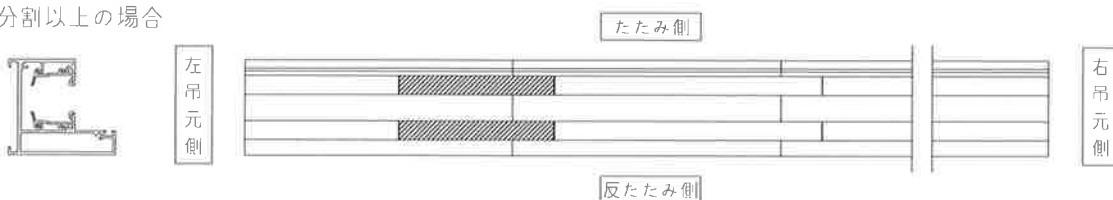
上枠1本の場合



上枠2分割の場合

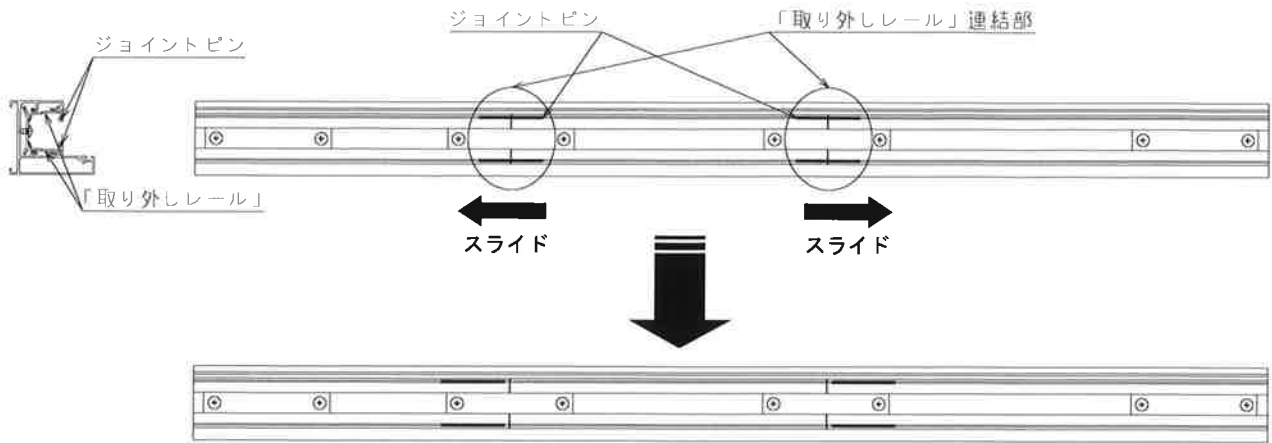


上枠3分割以上の場合



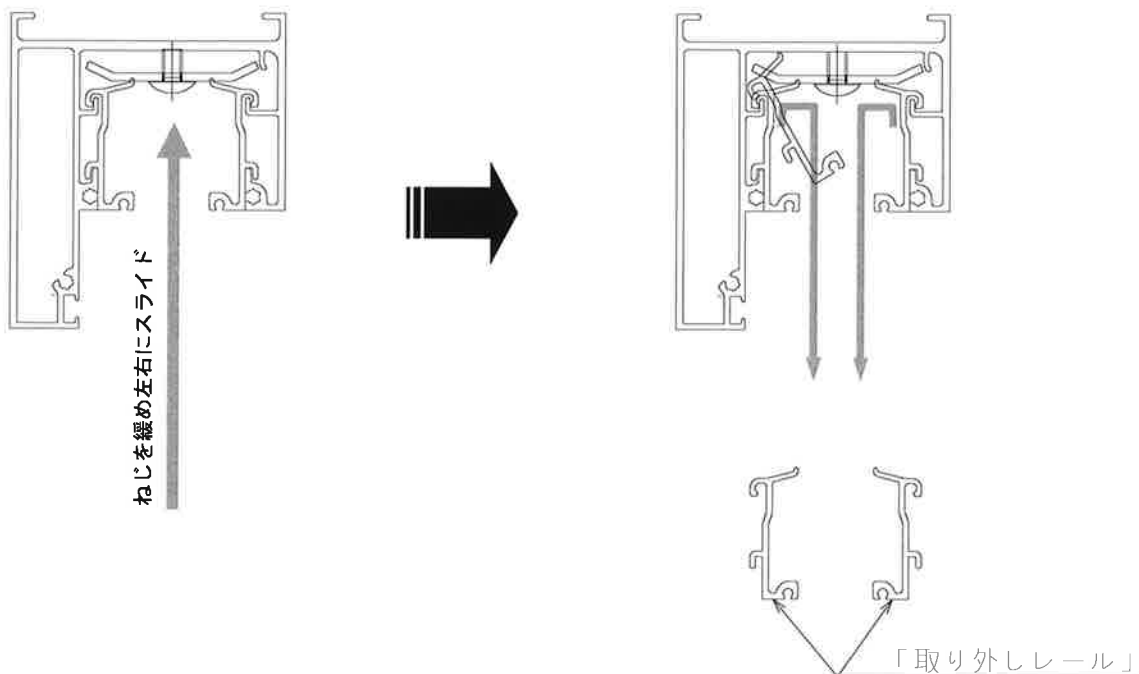
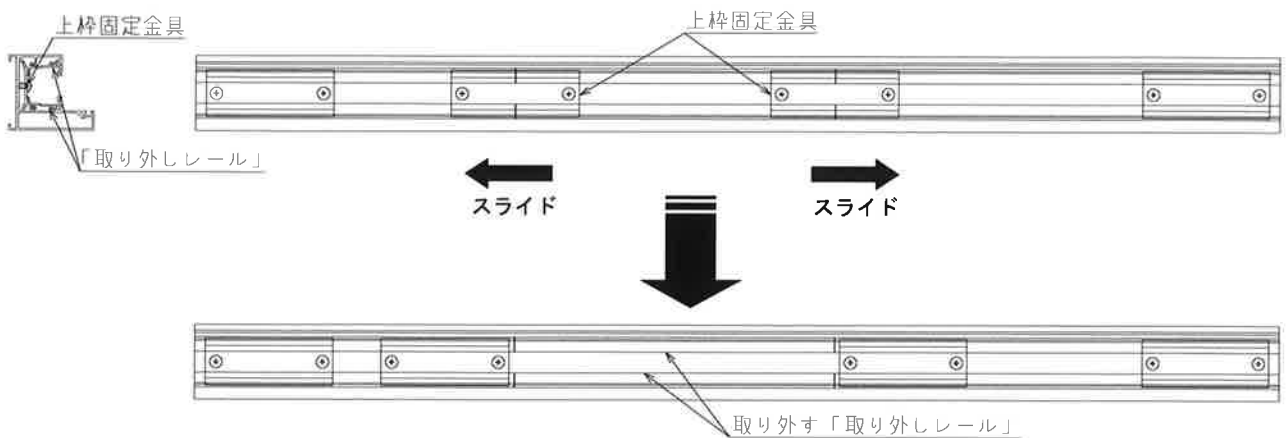
■ 「取り外しレール」の取り外し

①取り外す、「取り外しレール」連結部のジョイントピンを取り外さない側にスライドさせてください。



②取り外す「取り外しレール」の両端の上枠固定金具を固定しているねじを緩めて、取り外さない側にスライドさせ、「取り外しレール」を取り外してください。

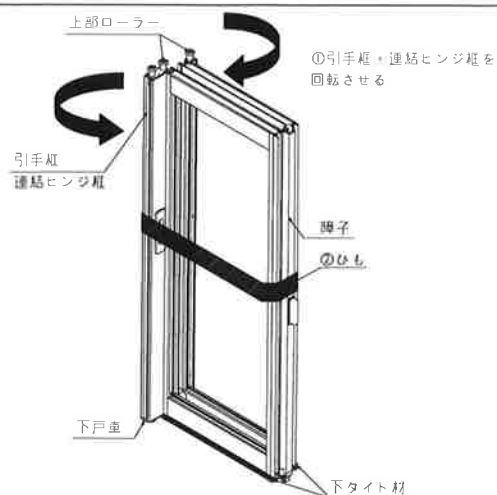
注意 緩めたねじは、再び使用するので、取り外して紛失しないように注意してください。



■障子の吊込み

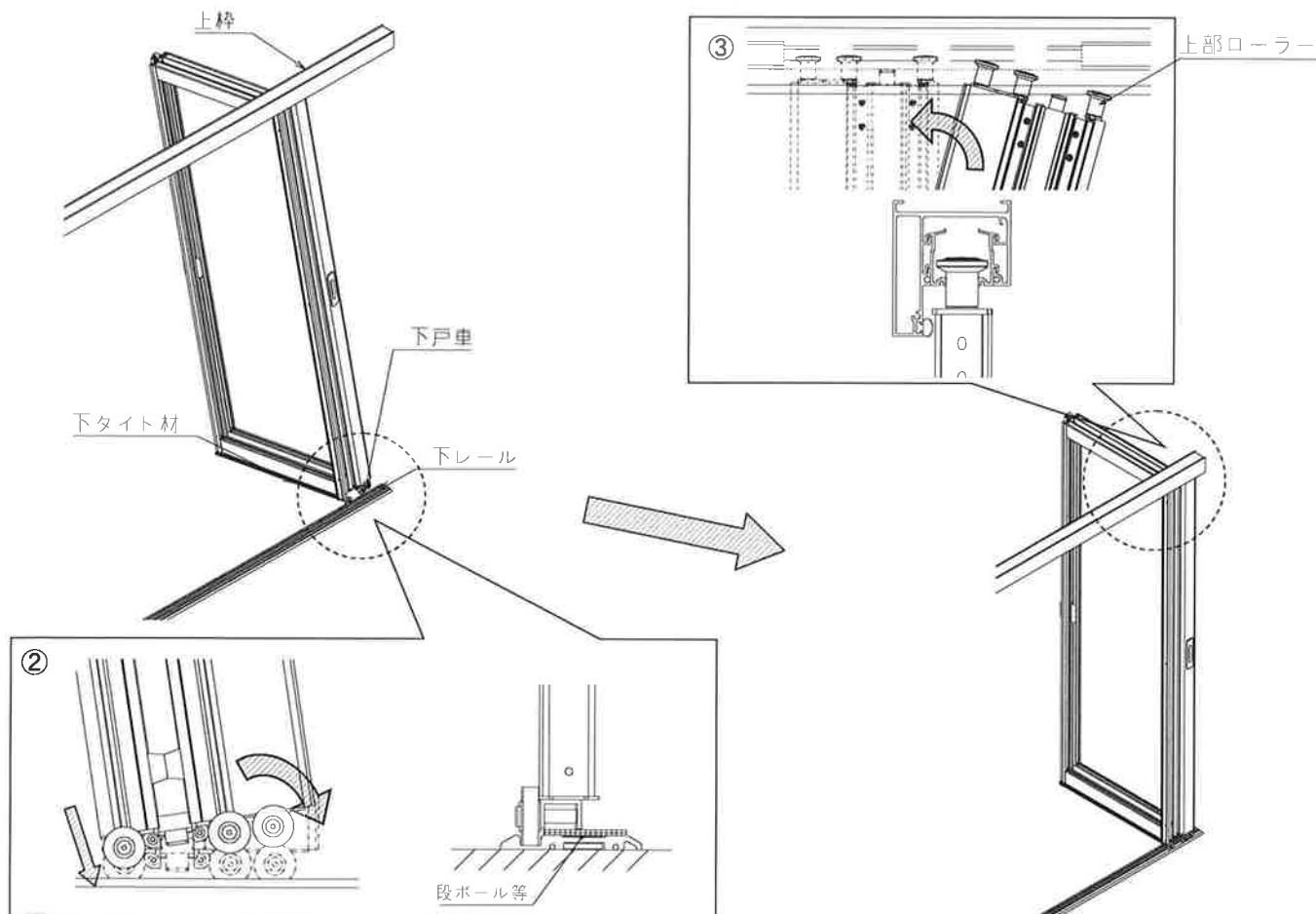
・障子の吊込み準備

- ① 引手框・連結ヒンジ框を横に回転させます。
(上部ローラーを右図の状態にします)
- ② 障子が開かないように適当なひもで固定します。



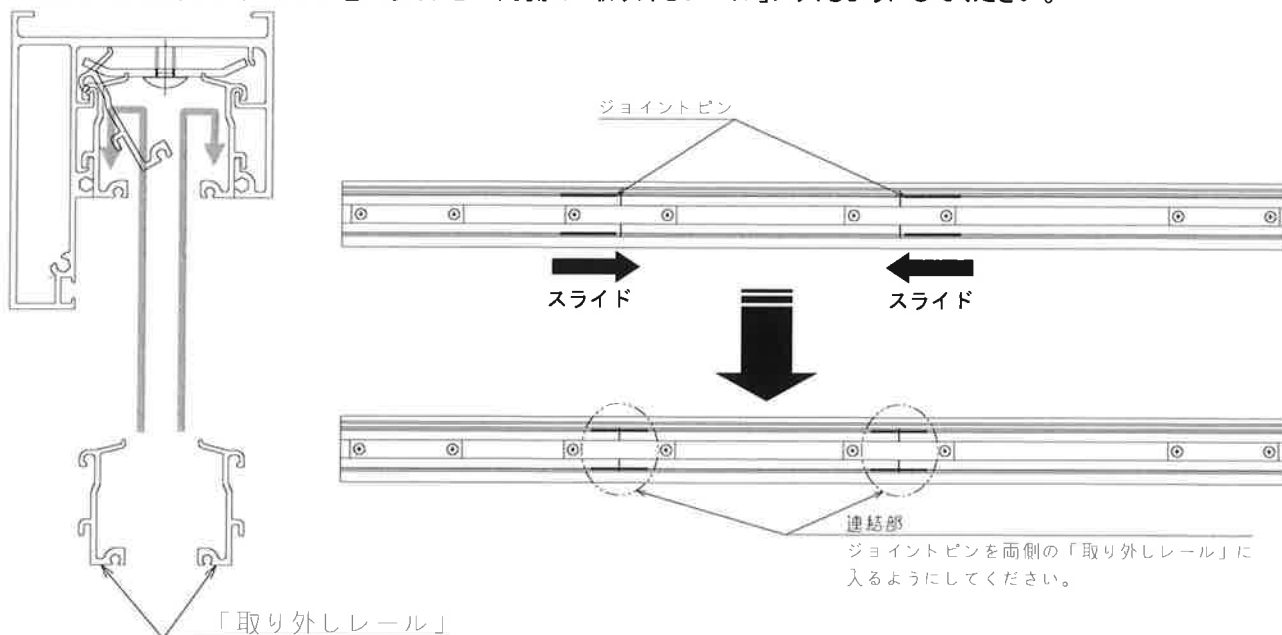
・障子の吊り込み

- ① 下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、傷がつかないようにしてください。
- ② 折りたたんだ障子を傾けて、下戸車や下レール部が傷つかないように少し持ち上げながら、下戸車を下レールに入れます。
※下タイト材に傷がつかないように注意してください。
注意 ・下タイト材が傷つくと性能に影響がでます。
障子を起こす際、下タイト材をレール上でスライドさせたりすると下タイト材が切れるおそれがあります。
- ③ 下レールから下戸車が抜けないように障子を傾けながら、上部ローラーを上枠レール部に吊込んでください。
※上枠の小口などで上部ローラーを傷つけないように注意してください。
※上タイト材に傷がつかないように注意してください。

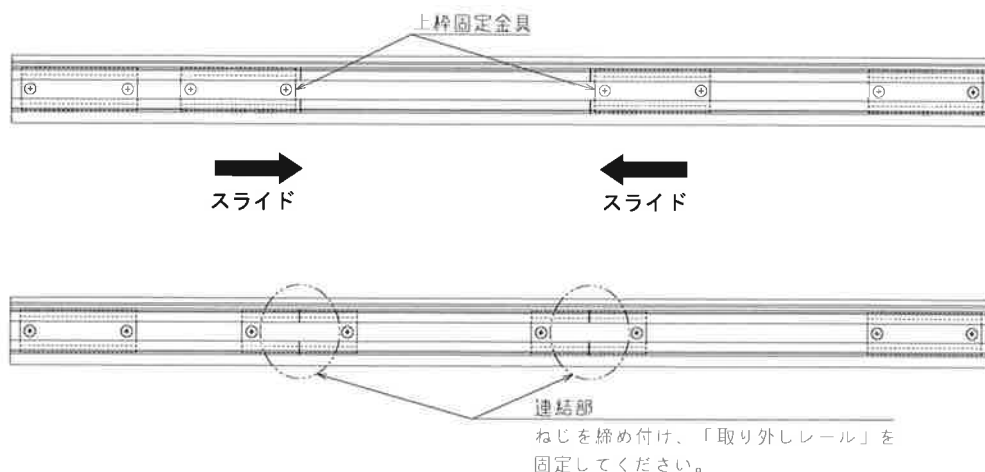


■「取り外しレール」の取り付け

- ①先ほど取り外した「取り外しレール」を元の位置に取り付けます。
取り付けたら、ジョイントピンをスライドさせ両側の「取り外しレール」に入るようにしてください。



- ②上枠固定金具の中心位置を「取り外しレール」連結部にスライドさせ、先ほど緩めたねじを締付けてください
※レール連結部にすき間ができないよう注意してください

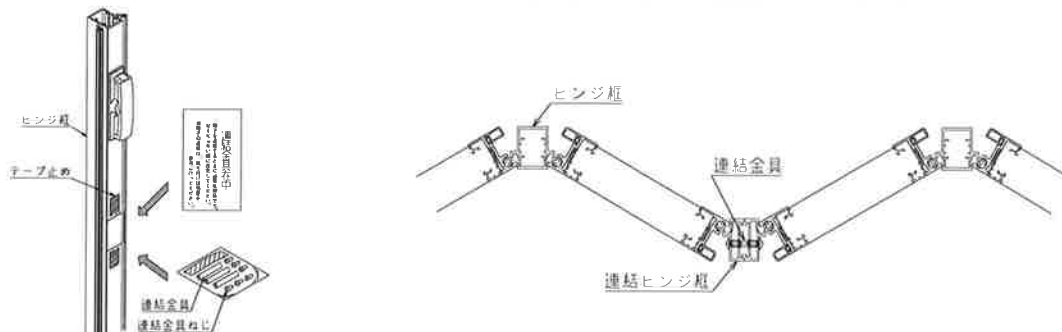


■障子の連結

連結金具・連結金具用ねじは、ヒンジ框にテープ止めされています。

・連結金具

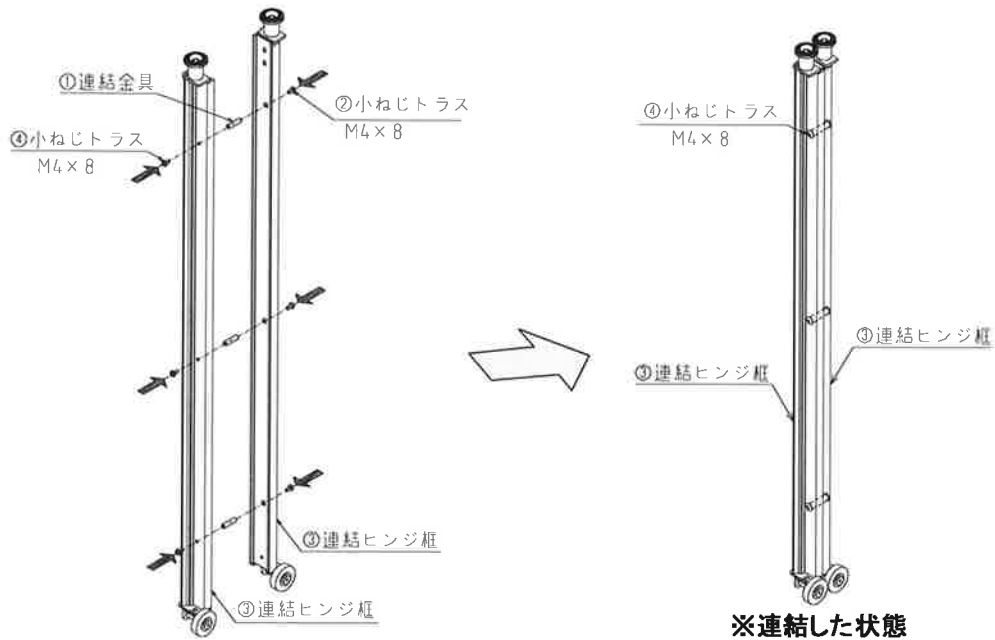
- ・連結ヒンジ框に設けられた貫通穴を利用し、連結ヒンジ框を連結金具にて連結してください。



・連結方法

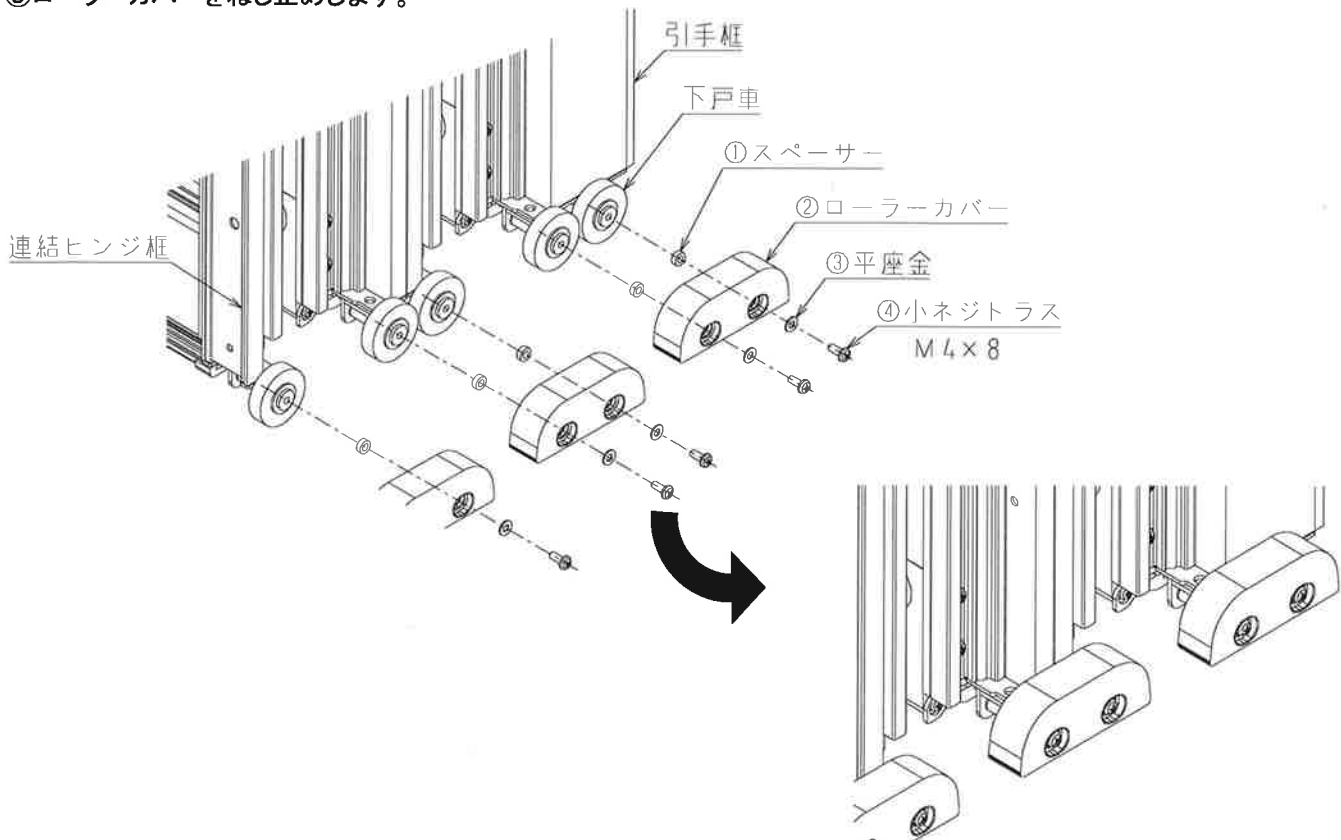
連結は、連結する障子同士を半開き状態にして行ないます。

- ①連結ヒンジ框の貫通穴に連結金具を通します。
- ②連結金具の片側を(+)小ねじトラス M4×8にてねじ止めします。
- ③連結する連結ヒンジ框を合わせます。
- ④②でねじ止めた反対側の連結金具を(+)小ねじトラス M4×8にてねじ止めします。



■ローラーカバーの取り付け(引手框及び連結ヒンジ框)

- ①ローラーカバー(貫通穴が二つのもの)、スペーサー、平座金、(+)小ねじトラス M4×10を梱包箱から取り出します。
- ②引手框、及び連結ヒンジ框の下戸車の軸のねじ穴にスペーサー、ローラーカバー、座金の順番で合わせます。
- ③ローラーカバーをねじ止めします。



2 吊元ストッパーの調整、ローラーカバーの取り付け(吊元枠)

・吊元側の引手框は、常に固定になります。(図は、吊元框の反たみ側に穴がある場合)

①障子の吊込み、連結ヒンジ框の連結後に全閉状態にしてください。

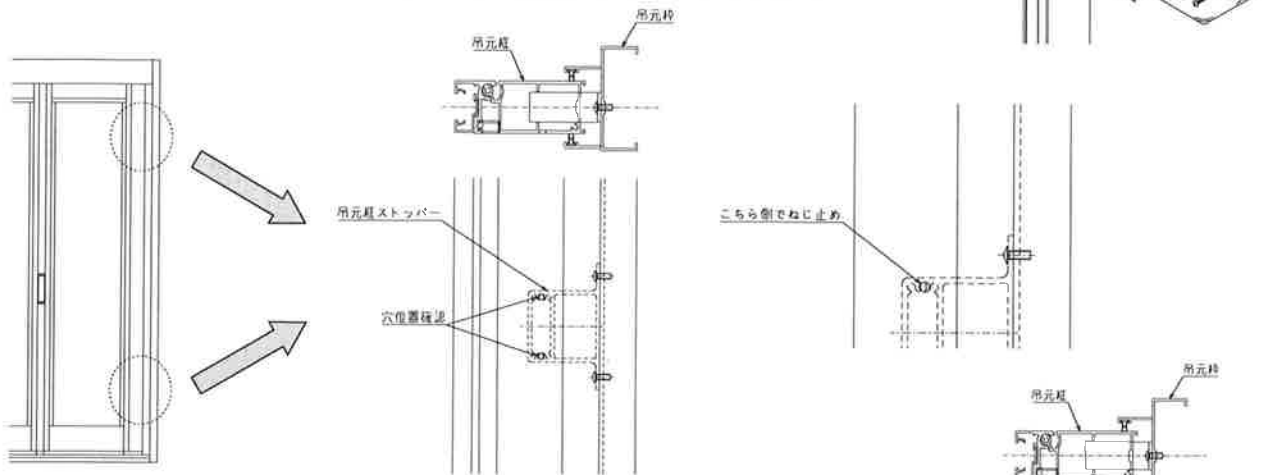
②全閉した時、吊元枠と吊元框の穴の重なり位置を確認してください。

穴の重なりは、縦・横方向確認してください。(上下各2箇所)

※穴は、吊元框の片側にあります。(吊元固定ねじがテープ止めされている側)

横方向(W方向)の穴位置ずれは、穴の重なりが大きい方でねじ止めしてください。

横方向(W方向)の穴位置は、上部・下部共に同じ箇所からねじ止めしてください。

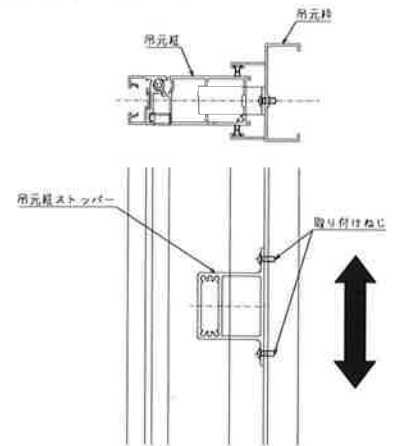


③縦方向の穴が重ならない場合は、吊元枠に取り付けてある、吊元ストッパー取り付けねじをゆるめてください。

吊元ストッパーを上下にずらし、穴位置を合わせてください。

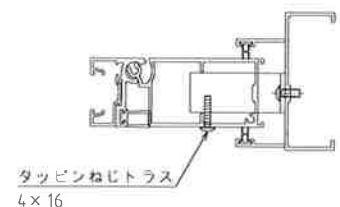
(調整量: ±3mm)

穴位置を合わせましたら、吊元ストッパー取り付けねじを確実に締付けてください。

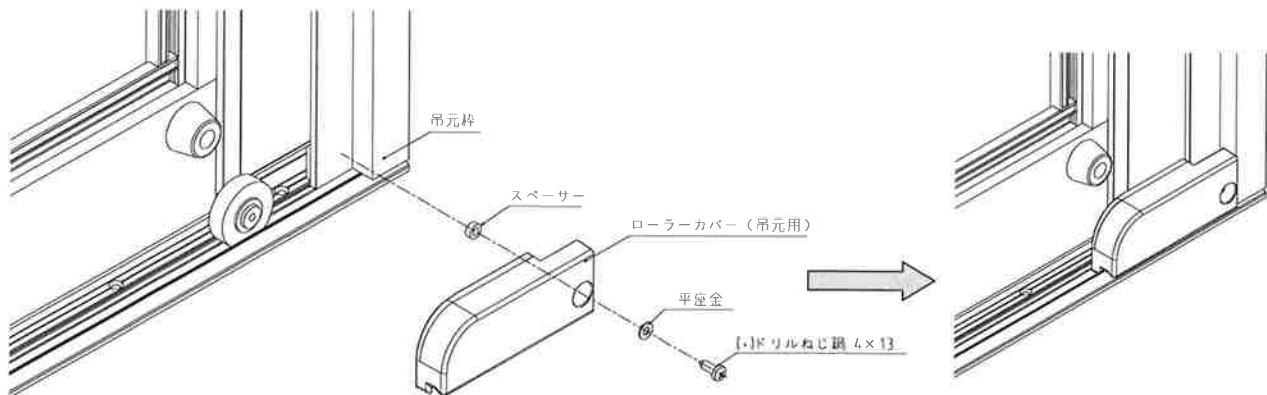


④穴位置を合わせたら、(+)タッピンねじトラス4×16にてねじ止めしてください。

ねじ止めは、上下各2箇所全てに取り付けてください。



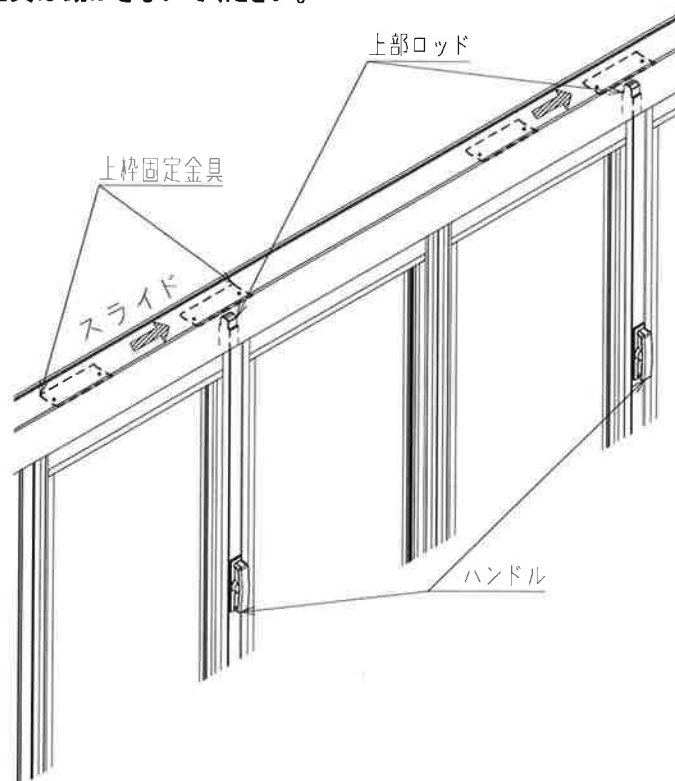
⑤吊元框ストッパーのねじ止めが終わりましたら、ローラーカバー(貫通穴が1つのもの)を吊元枠に合わせ、スペーサー、ローラーカバー、平座金の順番で(+)ドリルねじ鍋4×13にて吊元枠にねじ止めします。



3 上枠固定金具位置の調整

①障子を全閉にして、ハンドル上部の上部ロッドの位置へ上枠固定金具をスライドさせて、上枠固定金具を固定してください。

- 注意**
- ・緩めたねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。
 - ・連結部の上枠固定金具は動かさないでください。



□施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。

扉の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 障子が完全に折りたたむこと。
- ・ ハンドルが180° 回転すること。
- ・ 閉状態で下タイト材が下枠にかかっていること。
- ・ 錠がスムーズにかかること。
- ・ 全開状態で落しが完全にかかること。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234